

平成23年度第4回（第8期第4回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成24年3月21日（水） 午後3時～午後5時

2 開催場所 消防庁舎 大会議室

3 出席者

（委員）

下田会長、畑山副会長、吉本委員、高橋委員、木村委員、小林委員、内田委員、
武田委員、市原委員、大谷委員、荒井委員、坪井委員

（事務局）

長峰部長、本田クリーンセンター長、青木課長、須賀課長補佐、渋谷係長、
細川主任主事

4 議 題

（1）事業者による廃棄物減量の取り組みについて

（2）浦安市一般廃棄物処理基本計画について

ア 前回審議会での質問事項について

（ア）基本計画における基本目標の達成状況について

（イ）県内ごみ処理有料化の状況について

イ 基本計画の骨子について

（ア）生活排水処理基本計画の策定に当たっての指針について

（イ）ごみ処理基本計画について

（3）その他

5 議事の概要

（1）事業者代表より、事業者による廃棄物減量の取り組みについて説明。

（2）事務局より浦安市一般廃棄物処理基本計画について、前回審議会での質問事項及び当該計画の骨子について説明。

（3）市民・事業者・行政の役割のうち市民の役割について説明。

6 会議経過

下田会長・長峰部長の挨拶後、会長が議事を進行した。

議題1について事業者代表の委員より、自社での食品トレイの回収とそのリサイクルについての説明を行った。続いて事務局より、前回審議会での質問について説明を行った。次に各議題について説明を行い、委員による審議を行った。

その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

- ・委員 人口があきらかに増えているのに、汲み取りし尿人口が減ってきている原因はどのようなことか。
- ・事務局 浦安市は公共下水道の普及率が高く、汲み取り世帯だった方が公共下水道に切り替えてきているため、人口が増えても汲み取り世帯が減っているという状況である。
- ・会長 ごみ処理の基本計画では、それぞれ市民・事業者・行政の役割として、排出・発生抑制の取り組みと、資源化への取り組みの2つの充実が必要と考える。本日は特に市民の役割ということで意見をお願いしたい。今後は事業者、市の役割を確認しながら審議を進めていきたいと考えている。
- ・委員 我が家では、ラップ等は買わない。なぜごみとなるものを買うのか、子供が小さい頃からそのような話をしているので、自然と子供にも引き継がれていると思う。また、市民として生活する中で、ごみの減量に責任を果たしたいと思う人も多くいるので、市民に協力を願うことも必要である。
- ・委員 今までは用途に合った洗剤をそれぞれ使用していたが、廃食油からできる石けんが油に強いというのを知って、廃食油石けん1つにした。他にお菓子の箱などは、収納ケース代わりや、仕切りに再利用している。
他にも、捨てる前に使い道がないかを考えて、どうしても使い道が無い時には捨てるようにしている。
- ・委員 我が家では、物を購入する前に必要性を十分考えてから購入するようになっている。

会長より閉会の言葉に続き、事務局から次回の審議会日程を会長と調整のうえ、決定する旨の報告を行い、終了となった。